

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しとく館自立支援学習センター放課後デイ 藤代駅前教室		公表日 令和8年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・利用人数は多いが、学習を終えた子どもを別室へ移動させる等の工夫がなされている。 ・学習スペース、遊戯スペースいずれもその日の利用人数に合わせて環境を調整されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・子どもが自分で学習用のファイルを探して持ってくることができる等、分かりやすい構造になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・昨今のウイルス拡大に対し、清潔な空間の提供、手指消毒の徹底に努めている。 ・毎日清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・児童の状況について職員間で事前に周知するよう努めている。 ・一つひとつの事案に対し職員間でコミュニケーションを取るようになっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・評価表の内容を把握して、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・子ども達が帰宅した後に、様子や困ったことを話せるので次に対応しやすい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・第三者による評価はおこなっていない。しかし今後は検討課題である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・適宜、外部研修の参加や法人内での研修への参加機会を設けている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホームページ、レターで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・個々の能力を分析し、応じた教材の提案をする等、計画を作成、実行できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・ミーティングを行い検討をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・ミーティングにて共有を行い、計画に沿った支援が行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・子ども達の行動、状況を分析し、何故そう至ったのか確認しながら対応できている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・適切な設定を行った上で、具体的な支援内容を話し合っ決めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・チームで行い、それぞれの意見を踏まえて修正している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・定期的にイベントを行い固定化しないような工夫がなされている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・基本は集団活動だが、子どもの個々の特性に合わせた活動も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・出勤後に必ずミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・その日の勉強内容等を振り返り、次回以降でどう対応していくか話している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援終了後に記録を書く時間を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングを行えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・制作等で自由な発想ができる機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管及びふさわしい職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3	・保護者から下校時刻や行事の予定表をいただいている。	・学校との情報共有が難しいところもある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・必要な時は相談支援員を通じて情報提供を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	・研修の機会はないが相談支援員からの助言は受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・お祭りへの参加等、外での活動をする機会はあるが地域の子どもと交流はできていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・定期的に参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・帰りの送迎時に状況や課題を伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		・現状、家族参加の研修は設けられていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約の際に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・こどもや保護者の意思の尊重に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・送迎時や電話にて相談を受け、必要に応じ面談の場を設けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・行えていないため、今後の開催を考えている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・契約の際に苦情受付窓口について説明をし迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ホームページの更新を定期的に行い、子どもの様子をレターで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・職員間で注意し合うようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・配慮をしている。 ・伝え方に気を付けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・行えていない。今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルを掲示して周知をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に必ず保護者と確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時に必ず保護者と確認をし、おやつ提供の際に注意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・行われている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約の際に説明をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・都度報告、共有の場を設ける等して再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・虐待防止研修等、積極的に参加するようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・決定した内容は保護者に通達するように徹底している。		